

里地里山の保全・活用



きよばあちゃんの特産なめこ
きのこ祭り、なめこ、もだしを販売予定



栗あった！



きのこ祭り 栗拾いや収穫体験などを予定



新ソバ祭り 新ソバを味わうイベント
ソバ打ち体験なども予定

イベントメニュー

秋のきのこ祭り

日時 平成23年10月23日(日)
10:00~15:00

きのこの出来具合で日程変更
となる場合があります。

場所 鶴岡市大鳥自然の家
大鳥タキタロウ村周辺

内容 オリジナル昼食
トレッキング、栗拾い
赤カブ収穫、イワナ釣りなど

新ソバ祭り 11月上旬

冬の雪祭り 2月上旬

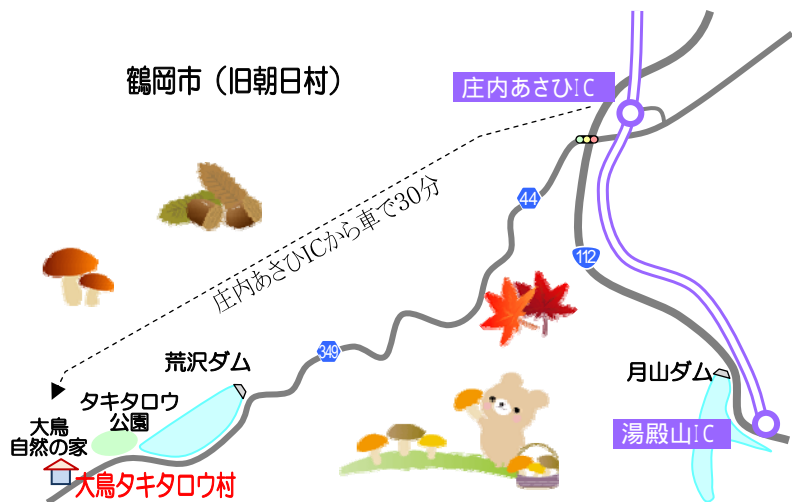
春の山菜祭り 6月上旬

その他のメニュー

各種農業体験
田植え、山菜採りなど

各種農村体験
カヌー体験、マタギ体験など

参加を希望される方は事前に連絡願
います。(村民の有無に関わらずどなたで
も参加いただけます)



お問い合わせ先

鶴岡市大鳥自然の家

Tel 0235-55-2946

都会の人と里地里山を守る

大鳥タキタロウ村



秋のきのこ祭りでは
焼畑で栽培した、赤カブの収穫体験などが行える



「大鳥タキタロウ村」3代目村長
大滝清策さん

50人の村に
600人の「村民」

鶴岡市大鳥(おおとり)地区は、かつて鉱山で栄えた村であったが、閉山後には、多くの若者が働く場所を求めて村を離れていってしまった。村が消滅するという危機感が強まり、地域での話し合いを重ねた結果、平成14年にむらづくり団体「大鳥タキタロウ村」を立ち上げた。タキタロウ村のユニークさは、外の人を呼び込むその加入システムにある。むらづくりに賛同する人であれば、誰でも年会費500円で「村民」になれる。「村民」には、山菜まつりなどのイベントや、共同農園・きのこ狩りなどの農業体験プ

ログラムが用意されており、年間を通じて村を訪れてもらえる仕組みになっている。

「村民」は口コミで広がり、現在では600人程まで増加。遠くは東京や西日本の「村民」もいる。年間の来村者数は「村民」の家族なども含めて5000人にのぼるようになっている。



幻の魚「タキタロウ」が生息すると言われる大鳥池